

単元名 7 価値を語る ―魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く 配当時間 2時間

単元の目標 (1) 作品の魅力を伝える言葉にはどんなものがあるかを考え、より効果的な語句や表現を選ぶことができる。
(2) 作品の魅力が伝わるよう、作品に描いている様子を具体的に説明することができる。
友達と鑑賞文を読み合い、意見交換をすることで、自分の鑑賞文のよさや改善点を見いだすことができる。
(3) 進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとする。

標準的な展開例

11210220_001

【準備等】知多の友、付箋

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 表現の効果を考えて、鑑賞文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 表現の工夫を考えて、鑑賞文を書こう。 ○ 作品を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品を鑑賞し、魅力を一文で表す。 ・ 根拠となる具体的な特徴、感じたこと・想像したことを付箋などに書き出す。 ○ 表現の効果を考える。 <p>○ 鑑賞文を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み手を意識して、200字程度で書く。 </p> <p>2 鑑賞文を読み合い、意見交換をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 鑑賞文を読み合おう。 ○ 文章を読み合い、意見交換をする。 <p>○ 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の魅力が伝わるように、言葉や表現をどのように工夫したか。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「美術作品を鑑賞するときの観点」「感じたことを表す言葉」(p. 185)を用いて鑑賞させることもできる。 ・ 「知多の友」を活用する。 ・ 作品をじっくりと見て、書き出した付箋を見直し、よりよい語句や表現、それらの効果を考えるとよい。 ・ 知多の友に書かせる。 ・ 作品を知らない人が具体的にイメージでき、作品を見たいと思うような文章であるかという視点をもって推敲させるとよい。 <p>【評】鑑賞文を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞する作品を同じにすると、互いの鑑賞文が比較しやすく、自分の表現の改善点も見いだしやすくなる。 ・ 「知多の友」を活用する。 <p>【評】意見交換する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【備 考】

社会生活で求められる表現は多くの場合、自らの立場と、そのような立場に立つ根拠を明確にした表現である。この単元では、根拠に注目して論理的な表現のあり方について学ぶことを目的とする。

また、論理的な表現は、展開の中心となる意見を述べた部分とそれを支える根拠としての具体例などの付加的な部分などから構成されている。文章を読んだり、書いたりする場合はもちろんのこと、話し合う際にも、議論の中心となる論点を明確にたれておくことは必要である。ここでは、論点を明確にすることを通して、読んだり書いたり話し合ったりしながら、考えを深めていく学習をする。

「知多の友」を使用する。